

【タイム】 尾根(13:55)→大沢本流出合(14:40)→下降終了(16:00)

### 入水沢(下降)

1984年7月20日

L

摺上山山頂から、南西方向に下ると、15分程で入水沢右俣の源頭に出る。本流に出るまでは、8mの滝が一つあるだけで、あとはルンゼ状となっている。

右俣本流に出ると、すぐナメ床が続く。途中左岸に滝をもつ支沢が二本入る。また、樹木が集中している所もある。滝は下流部で3個連続するが、上流部は5mの滝が1つあるだけである。沢幅は適当に広くて明るく、摺上川流域特有の茶褐色の美しいナメ床がみられる。11:00中津川林道に出て、下降終了。(記・佐藤 守)

【タイム】 摺上山(9:10)→入水沢(9:30)→中津川林道(11:00)

日陰ゴミ沢右俣

### 日陰ゴミ沢右俣

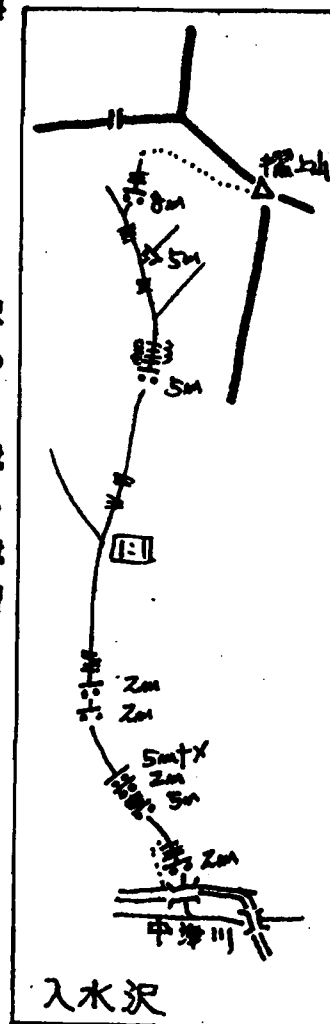
1984年10月10日

L

梨平から中津川林道に入り、車で約15分進むと、両側から支流がそそぐNo 15の橋に出会う。この橋のたもとからセツ森のピークに向かってつめあげるのが日陰ゴミ沢で、対岸の沢が日向ゴミ沢である。

9:20進行開始。河原をしばらく歩くと、F<sub>1</sub> 6mの滝が現われる。左岸を直登して越えると、この先は幅の狭い小ゴルジュとなって小滝が続く。2mと4mの二段滝は、コケが生えていてすべりやすく、右岸を捲いて上に出る。

やがて水量比1:2の二俣。水量の多い右へ入ると、また小さなゴルジュと小滝を繰り返す。沢ぞいには釣人の蹤跡があるので、どこでも捲くことができるし、ゴルジュといっても水量が少ないうえ小さいので、緊張感はなく、ちょっぴり期待はずれという感じ。



沢の中程は倒木が多く、またぎながら進む。やがて1~2mの小滝が連続したあとに7mの滝が出る。これは直瀑なので、右岸のやぶを高増く。

すぐ二俣。左俣には10mの滝があり面白そうだったが、水量の多い右俣をつめる。こちらはブッシュが多く、だんだん急登となる。水が濡れた頃から、垂直に近いくらいの壁をブッシュにつかまりながら登り、尾根に出て日陰ゴミ沢の遊行を終える。

(記・

【タイム】 日陰ゴミ沢出合(9:20)→二俣(10:05)→尾根(13:55)

日陰ゴミ沢

日陰ゴミ沢左俣右沢

1984年7月29日

L

秋遠沢左俣の遊行を終えて尾根に出たのが9時30分。このまま下るのもつまらないということで、日陰ゴミ沢左俣右沢を下降し、左沢を遊行してから秋遠沢右俣を下降しようということになって、9時40分下降開始。

5分くらいのヤブこぎで沢に降りる。しばらく下降すると、ナメ状の小滝が次々と現われる。すべてクライミングダウン。登って見たらおもしろいだろうと考えながら下る。

左沢出合で小休止後、二俣まで下降。5~10mの小滝が続くがすべてクライミングダウンできた。11:15下降終了。

(記・

【タイム】 下降開始(9:40)→左沢出合(10:50)→右俣出合・下降終了(11:15)

